



青き楓

島高だより
令和8年9月号
(通巻第246号)
長崎県立島原高等学校
編集：教育企画部

青楓歳「体育祭」

9月6日（日）に、第78回体育祭を開催しました。
今年度は、熱中症対策のため午前中の開催となりました。

〔プログラム〕

開会式・準備運動

学年対抗リレー

各部対抗競技

チーム長縄（3年生）

台風の目（1年生）

瀬渡し（2年生）

応援合戦

気綱（絆）…PTA 対教員の綱引き

新種目集まれ未来の旗手…幼児・小学生・中学生が参加

班別対抗リレー

サークル

閉会式

解団式



校長室から

「好き」が未来を広げる

～生徒との対話“第2弾”「アントレプレナーシップゼミでの学び」～

県教委主催の「高校生アントレプレナーシップゼミ 2026 Summer」に参加した文理探究科2年5組の植木花香さん。このゼミは、県内の高校生が学校の枠を越えて集まり、約2か月間、自分の興味や地域の課題をテーマにビジネスプランを考える実践的な学びの場です。今回は活動を終えた植木さんとの対話してみました。



【対話】

久保田校長「植木さんたちのチームは、どんなプランを考えたのですか。」

植木さん「美容好きのメンバーで集まり、高校生向けのメイク体験サービスを考えました。動画だけではなく、一緒にメイクをしながら学べるサービスです。」

久保田校長「参加前からビジネスに興味があったのですか。」

植木さん「全く。『アントレプレナーシップ』という言葉もよく知りませんでした。調べると将来必要な力だと知り、自分にはない部分を成長させたいと思い応募しました。」

久保田校長「参加してみて、一番変化したことは何でしたか。」

植木さん「『好きなことからビジネスを考えていい』ということです。これまでビジネスというと大きな会社や特別な人の世界だと思っていました。でも実際には、自分の興味や身近な疑問から始まるものも多いと知りました。」

久保田校長「他校の生徒との活動はどうでしたか。」

植木さん「とても刺激を受けました。自分の考えをどんどん言葉にできる人が多くて驚きました。私は言語化が苦手なので、『もっと伝えられるようになりたい』と感じました。」

久保田校長「活動の中で苦労したことはありましたか。」

植木さん「自分の考えを相手に分かりやすく伝えることです。頭の中ではまとまっていたけど、言葉にするのが難しく苦労しました。」

久保田校長「実際に起業家の方との交流で心に残ったことはありますか。」

植木さん「『推しになるくらい好きなことを仕事にした方がいい。そうでないと続かない』という言葉です。好きなことだからこそ努力を続けられるのだと感じました。」

久保田校長「発表では厳しい質問もあったそうですね。」

植木さん「『本当に需要があるの?』という質問です。同じアイデアでも賛成もあれば厳しい意見もあり、相手に納得してもらえる説明が必要だと学びました。」

久保田校長「最後に、島原高校の生徒へメッセージをお願いします。」

植木さん「学校では学べないことを学ばすし、自分に自信もつきます。少しでも興味があれば、ぜひ挑戦してほしいです。」

【校長より】

今回の対話で一番印象に残ったのは、植木さんが何度も「好き」という言葉を口にしていたことです。美容が「好き」だから参加者同士でアイデアを出し合い、その「好き」をどうすれば人の役に立つ形にできるかを考える。そんな経験を通して、植木さんは新しい視点や自信を手に入れたように感じました。

また、県内の高校生や起業家の方々との出会いも大きな財産だったと思います。自分とは違う考え方に触れたり、厳しい質問を受けたりする中で、自分の考えを言葉にして伝えることの難しさや大切さを実感したそうです。

私自身、話を聞きながら「成長のきっかけは意外と身近なところにあるのだな」と感じました。最初から大きな目標や明確な夢がなくても、自分の興味や関心のあることに一歩踏み出してみる。その積み重ねが、将来の可能性を広げていくのかもしれない。今回の植木さんの経験が、「ちょっと面白そう」「やってみたいな」と感じている生徒たちの背中を押してくれることを願っています。

島高青楓塾・人生の達人セミナー

9月11日（金）、日本マクドナルド株式会社取締役上席執行役員兼最高マーケティング責任者（CMO）、ズナイデン房子様（本校35回生）に「行きたい道を切り拓け」と題して、講演していただきました。本校卒業後、筑波大学に進まれ現職に就かれるまで、そして現職で取り組まれていることのお話は非常に魅力的で、参加者全員が引き込まれるものでした。



ズナイデン様の「自分に素直に、人と違っていても良い」「自分の可能性を信じて」「人生の選択に正解はない、選んだ道が正解になる」という3つのアドバイスは、日々の生活や進路選択に悩む生徒たちにとって、「自らの人生は自らの決断によって進んでゆけばよい」という強いメッセージとして響いたようです。「行きたい道を切り拓け」の演題のとおり、生徒たちにたいへん大きな勇気を与えてくださいました。また、ズナイデン様のお人柄も島原高校の憧れの先輩として生徒たちに輝いて映ったようです。

講演会後は、パネルディスカッションを実施し、パネリストの生徒から多くの意見が出るなど、盛況のうちに終了しました。

【生徒感想】

- ・私史上最も必死に聞いていました。最近の私は失敗することが多く怖くて失敗する自分を避け主体的に周りを動かそうとすることが減っていたが、自分自身好きなことは何かと問い直し、自分自身を振り返り整理できました。
- ・とにかく自分の得意なところを伸ばし、自分の可能性を信じて「好き」に突き進んでいきたいと思った。
- ・「人生の選択に正解は無い」の言葉から、間違っていて良いんだと思えました。失敗から学べるものがあるから、失敗を恐れず何事にも挑戦しようと思います。



3年生対象の進路講演会

体育祭が終了し、いよいよ受験が間近に迫ってきた3年生を対象に、本校教頭竹田先生を講師として進路講演会を開催しました。

「無敵の受験生になるには」というテーマで、物事にガッツくことができるようになってほしいこと、ガッツきつづけることで学習をはじめとする取り組みに「矜持」の念をもってほしいこと、「不屈の精神」をもって取り組み続けてほしいこと、を多くのアプローチで話していただきました。

吉報は、最後まで思い続ける者に届きます。頑張る姿は周りを刺激し、応援される存在となります。島原高校79回生全員が進路決定となる日まで、3学年団を中心に島原高校職員一同、精一杯サポートします。

79回生、ガッツけっ！



入試説明会（中学校教諭対象、学習塾対象）

9月29日（火）に中学校の先生方に向けての説明会、30日（水）に学習塾の先生方に向けての説明会を行いました。

高校入試についての説明や学校の現況報告、進路、探究活動について説明させていただきました。また、多くのご質問や貴重なご意見等をいただき、大変有意義な説明会になりました。両日とも多くの先生方のご参加ありがとうございました。これからも島高の魅力を発信していきます。

10月の主な行事予定

1日（木）～6日（火）
2年生中間考査・3年生学年末考査
2日（金）～6日（火）
1年生中間考査

7日（水）3年生激励会
2年生進路講演会
9日（金）高大連携事業（1・2年）
10日（土）11日（日）
全国記述模試（3年）
14日（水）後期学級役員任命式
16日（金）後期役員各種委員会

17日（土）各種模試（3年）
19日（月）～29日（木）
1・2年生は午前中授業
午後は各クラスの文化祭準備

20日（火）地学巡検（1年文理探究科）
21日（水）県駅伝競技壮行式
24日（土）各種模試（3年）
26日（月）週休日振替
30日（金）文化祭準備（1・2年）

31日（土）11月1日（日）
青楓祭〔文化祭〕本校で実施
31日はオープンスクール